

2018.10.30

私立歯科大学協会

歯科プレスセミナーで

非歯原性歯痛など紹介



それぞれの講演後に報道関係者からの質問に答える小見山氏(左)と高橋氏

全身とアンチ関係、科、要介無呼吸AM冠、げてき回、非、齢社会、育成に「原、松戸、氏は、かか、じて、咀嚼筋、スや三、場合、袖、うもの、歯が原、医師が、できる、携によ、になる、

骨粗しょう症 パノラマでリスク判定

日本人歯科医の論文が国際的に注目

パノラマレントゲンで顎皮質骨の幅を測定することで骨粗しょう症のリスクを判定することができる。

大槻氏らの研究は330人の患者を対象に、パノラマレントゲンの所見を下顎皮質骨の状態により三つのクラスに区分。超音波検査による骨密度(BMD)と照合して、パノラマレントゲンの所見の信頼性を評価したものの。

結果、女性患者のほとんどが下顎皮質骨の重度の浸食が認められるクラス3で、BMDの値も低く、パノラマレントゲンの所見による骨粗しょう症のリスクスクリーニングに臨床的意義があることが示唆されたものの。

「光」の安全な活用

レーザー歯学会 30回記念



「光と共に歩む歯科医療」をテーマに日本レーザー歯学会(富士谷盛興理事長)は、第30回記念総会・学術大会(沼部幸博大会長)を20、21の両日、東京都千代田区

の現状と強調し、適切なレーザーによる治療について



幸美 予

して知らなごを学を、ルギーをもらえますし、メールのやりとりしかでき

兵庫県三田市で開業する大槻衆人氏らが2017年4月に発行された世界歯科連盟機関誌「IDJ」67(2)に論文を掲載。

人口構成の高齢化に伴い、大腿部骨折による寝たきりを招くなど骨粗しょう症が社会的に深刻な問題となっているが、受診頻度が高

人の歯科医療費を取り扱う民間保険のDentipianの運営会社「SymplyHealth Professionals」が加入者を対象に、2013年における1万人の口腔健康状態と、17年とを比較して、信頼性、安定性を評価した

その結果、Dentipianで、症例ごとの重症度を決めるプログラム(DEEP PA)によってオンライン判定された5段階のキャピ

